

# RPHA 71 日本 (RS TAICHI) MANUAL-HELMET

2023. 07. 19

Front



**RPHA 71**  
Owner's Manual

販売元  
**アールエス 株式会社**  
〒577-0063 大阪府東大阪市川原1-1-41 41 階  
TEL: 06-6785-0501 / FAX: 06-6785-0510 e-mail: taichiri@rs-taichi.jp

製造元  
**HJC VINA LIMITED COMPANY**  
Khai Quang Industrial zone, Khai Quang Ward,  
Vinh Yen City, Vinh Phuc Province, Viet Nam. Tel. 84-211-3726-911

www.hjchelmets.com  
HJC Corp.



**RPHA 71**

	PIM EVO Shell		内装取り外し可/洗濯可
	アドヴァンスド チャネリング ベンチレーションシステム		全サイズにチークパッド交換性有り
	PINLOCK HJ-40シールド付属		ダブルリング
	UV 99%カット		エマージェンシーキット (緊急時にヘルメット装着 状態でヘルメットを着脱可能)
	HJ-V12 サンバイザー付属		JIS認定/SG認定
	アンチフォグレンズ		Smart HJC 21B & 50B 専用設計インカム※別売

サイズ: S-XL  
※ HJCヘルメットの詳細は[www.hjchelmets.jp](http://www.hjchelmets.jp)をご覧ください。

**警告**  
ご使用前になる前に必ずお読みください

この度は、HJCヘルメットをお買い上げ頂き、ありがとうございます。本取扱説明書はHJCヘルメットの正しい取り付け方法について説明しております。ご使用前になる前にご一読の上、安全に適切なサイズをお楽しみください。又、ヘルメットの適切な使用と正しいヘルメットの独自の装備、取り扱いが重要です。また本頁には大切に保管して下さい。この取扱説明書の内容は、予告なしに変更する場合があります。

**S** Gマークは(Safety Goods)安全製品の略号で製品安全協会が定めたもので、構造、材質、色みなどから見て、生命又は身体に対して危害を及ぼす恐れのある製品について、安全製品として必要な事項を満たしたG基準を、製品安全協会が定め、この基準に適合していると認められた製品にのみ付けられるマークです。

**PS** PSマークのPSはProduct(製品)、SAはSafety(安全)の略号で定められたもので、PSマークのPSはConsumer(消費者)の略号です。国は、消費生活用製品のうち、一般消費者の生命又は身体に特に重大な危害を及ぼすおそれがあるため製品を特定製品として取り扱っています。国で定められた技術上の基準に適合しているかどうかチェックします。合格した製品にはPSマークの表示がされ、PSマークを表示していないものはその販売を禁止されています。

**乗車用ヘルメットの有効期限は、「購入後3年」です**

ヘルメットは使用に伴い劣化、劣化等の経時変化によって新品のと同じ性能を維持できない事もあります。このためS Gマークには、ヘルメットの耐久性を考慮して、「購入後3年」との有効期限を定めております。有効期限を過ぎたヘルメットは、事故の際に十分な保護性能を発揮しない恐れがありますので、ご注意ください。又3年以内であっても大きな衝撃を受けたヘルメットや破損、改造したヘルメットも事故の際に十分な保護性能を発揮しない恐れがありますので、充分ご注意ください。

製品安全協会/日本安全輸工業会

**S Gマークの被害者救済制度について**

ヘルメットについてのS Gマークは、ヘルメット(シールド等の付属品は含まない)に欠陥があり製品安全協会の定める基準に適合していないため着用者がケガをした場合など身体的損害について賠償するものです。即ちオートバイを特種な用途(レースカーや大型)に用いている等の負傷や亡くなる等の定めヘルメットの性能を超える強い衝撃を受けたための負傷等は賠償の対象にはなりません。

**製品の欠陥により事故がおきた場合**

「賠償手続きは以下の通りです」

1. 製品の欠陥による事故がおきたら、すぐ製品安全協会 消費者生活用品 P Lセンターへ連絡してください。電話番号は03-5808-3303です。
2. 「事故発生届」又は「賠償措置実施請求書」を提出してください。(原則として事故発生後60日以内)
3. 事故の状況を確認するとともに、事故品について精査可能な品検や試験を行います。
4. 以上の調査結果を基に、賠償するかどうかを決定します。

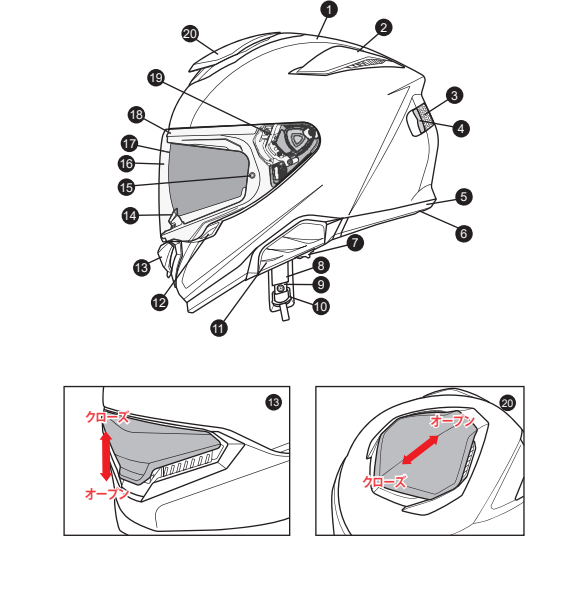
S Gマークについてのお問い合わせ先  
〒110-0012 東京都台東区電産 2-20-2 ミサワホームズ 三輪 3階2番  
製品安全協会 消費生活用製品 P Lセンター  
電話番号 03-5808-3303

**警告** ヘルメットの保護能力には限度があります。  
HJCヘルメットは国の定める安全基準を十分満たしておりますが、いかなる事故や転倒に対しても絶対安全という訳ではありません。ヘルメットは万一の事故や転倒の際、外部からの衝撃を軽減するものにはなりません。

**警告** 必ず守って頂きたい注意事項

- ・使用前点検を必ず行ってください
- ・構成部品が正しく取り付けられているか乗車前に点検してからご使用ください。ベンチレーションや内装等の取り付け部品が正しく取り付けられているか確認してください。ヘルメットの内装や部品が破損しているか確認してください。
- ・おに合ったサイズのヘルメットをお使いください。
- ・大きすぎるヘルメットは、走行中ぐらつき危険です。又小さすぎるヘルメットは頭を締め付け痛くなる場合があります。首を振ってもしれない頭におに合ったサイズのヘルメットをお使いください。

**各部の名称**



1. シェル
2. リアエアアウトレット
3. EPS(衝撃吸収ライナー)
4. インナーライナー
5. ストラップボタン
6. リアベースカバー(インカム)
7. サンバイザーレバー
8. チンストラップ(あご紐)
9. チンストラップボタン
10. ダブルリング
11. サイドベースカバー(インカム)
12. シールドロック
13. ロワーベンチレーション
14. プレスガード
15. アンチフォグレンズ取付用ピン
16. HJ40シールド
17. HJ-V12サンバイザー
18. アイボートガセット
19. シールド
20. トップベンチレーション

**あご紐の締め方**

あご紐が下の図の様に正しく締められ装着できているか、必ず確認して下さい。あご紐がたるんでいると、走行中にエアインテークのスイッチを操作しにくい場合があります。走行中のチャーター操作は、オートバイの操縦に支障をきたす原因となり危険です。操作は、必ず停止した状態で行ってください。

・汚れや油の付いたシールドで走行しないでください。走行中、視野の妨げとなりますので、汚れたシールドは走行前に汚れを落とす必要があります。シールドは新しい補修部品に交換してください。

・走行中の環境変化に対する注意

・突然の雨や急激な温度変化によってシールドが曇る場合があります。この様な状況が予測される時は、走行前にシールドの曇りを確認し、適切なクリーニング剤を使用してください。

・大きな衝撃を受けたヘルメットは外観上損傷がなくても使用しないでください。ヘルメットは、シェル及び衝撃吸収ライナーが損傷する事で衝撃エネルギーを吸収します。衝撃を受けた後はライナーが潰れている場合が多く、衝撃吸収エネルギーを吸収できず非常に危険です。

・改造は絶対しないでください。ヘルメットに穴をあけたり、削ったりする事は、性能を損ない非常に危険です。また、着脱可能な部品を取り外したままでの走行も大変危険です。

・ヘルメット及びシールドのお手入れには専用の中性洗剤をご使用ください。熱湯(50℃以上)や塩水、ベンジン、シンナー、ガソリン等を使用すると本体及びシールドに悪影響を与えますので、絶対に使用しないでください。汚れは中性洗剤を薄めて柔らかい布で拭き取るようにしてください。

・ヘルメットに塗料、接着剤、ガソリン、その他何らかの溶剤もつけてください。溶剤によりシェル及び衝撃吸収ライナーが浸され衝撃吸収力が著しく低下します。

・ヘルメットは必ず特殊な材質で取り扱って下さい。内装やシールドを自分で取り替える事は、ヘルメットの性能を損ない、危険を及ぼす可能性があります。又ヘルメットをオートバイのホルダーに付けたままの走行はおすすめしません。ヘルメットに傷を付けるほか、オートバイの操縦に支障をきたすことがあります。

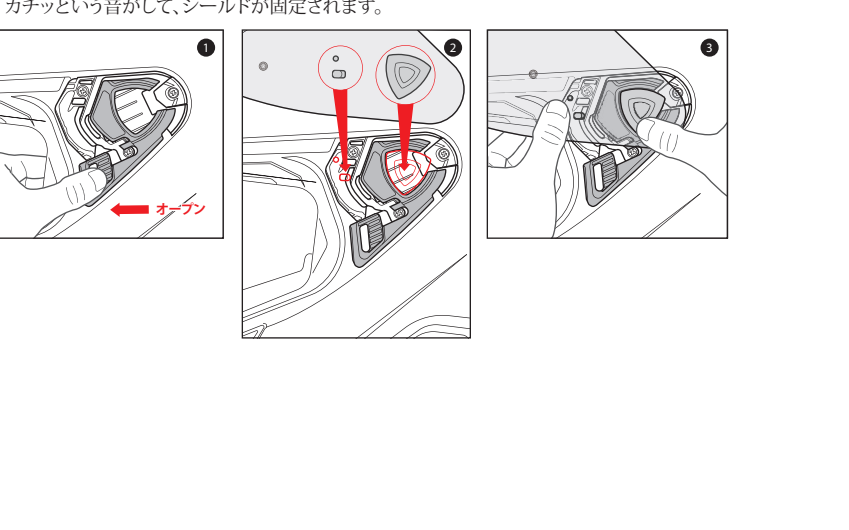
**シールドの取り外し**

1. シールドロックを矢印の方向に押し上げてロックを解除します。
2. シールドを全面に下げてください。
3. ハンドロックを矢印の方へスライドさせて下さい。シールドがアプレットから外れます。

**シールドの取り付け**

1. ハンドロックが解放になっていることを確認します。
2. シールド下部の突起部分とアプレットの突起部分に合わせてください。
3. カチッと音がして、シールドが固定されます。

**シールド**



Rear

**警告** ヘルメットを扱う前に、チークパッド、インナーライナーが正しい位置にあるか必ず確認してください。パッドが適切に取付されていないと、事故発生時の、深刻な負傷や死亡の危険が高くなる恐れがあります。

**チークパッドの取り外し**

チークパッドはスナップボタンとプラスチック板で固定されています。

1. チークパッド内側にある3つのスナップボタンを必ず外して下さい。
2. チークパッドを両側の様に引いて取り外して下さい。

**チークパッドの取り付け**

1. プラスチック板をシェルとEPS(衝撃吸収ライナー)の間に差し込みます。
2. スナップボタンを取付けます。

**インナーライナーの取り外し**

1. 前後の5カ所のツメを持ち上げながら一つずつ外していきます。
2. 後方の2つのスナップボタンを外して下さい。

**インナーライナーの取り付け**

1. インナーライナーの枠を5カ所のツメの下に押し込み取り付けます。
2. 後方の2つのスナップボタンを取付けます。

**チンストラップカバーの取り外し**

1. あご紐も付け根のベルクロを浮かせてから、チンストラップカバーの端をつかんで引っぺがします。

**チンストラップカバーの取り付け**

1. チンストラップカバーをあご紐に通し、奥まで押し込んで内側のベルクロで固定します。

**サンバイザーの取り外し**

1. ストッパーをStage 1の位置にしてください。
2. サンバイザーレバーを矢印の方向に奥まで押しつけてください。
3. サンバイザーの片側ずつ矢印の方向にゆっくり引っぺがります。

**サンバイザーの取り付け**

1. サンバイザーの横溝のタブ(A)をホルダー(B)に差し込んで下さい。同様に逆側も差し込みます。

※ サンバイザーを取付けする時は確実にタブを奥まで押し込んで下さい。押し込みが浅いとサンバイザーが正しく作動しません。

**サンバイザーの操作方法**

レバーを前へスライドさせるとサンバイザーが収納されます。

レバーを後へスライドさせるとサンバイザーが出ます。

※ サンバイザーは3段階の位置調整が可能です。鼻の高さに合わせて位置をお選び下さい。STAGEが上がるにつれてバイザー位置が高くなります。

**警告** オートバイの運転中にサンバイザーを操作しないでください。サンバイザーを操作する時は必ずサンバイザーレバーを使って下さい。夜間はサンバイザーを使用しないでください。サンバイザーは目を保護する為のものでありません。シールドを損傷した状態でご使用下さい。

**警告** 色付きシールド及びサンバイザー使用上の注意事項

トンネル及び夜間走行の際は標準のシールドを使用し、サンバイザーを上げて下さい。

視認力の低下を引き起こす恐れがあります。

**チンカーテンの取り外し**

1. 図の様にチンカーテン本体を持ってゆっくり引き上げながら取り外して下さい。

**チンカーテンの取り付け**

1. チンカーテンの中央を念の位置に合わせ、矢印の方向へ押し込みます。

※ チンカーテンの切欠き部分(A)を左右の固定用ホルダーに押し込んでください。

**エマージェンシーキットの使い方**

緊急時には、赤いラインがあるボタンに指を入れ、図のように引くとチークパッドを簡単に取り外すことができます。※ チークパッドを取り付けのボタンの根本部分が外れる可能性があります。

**アイヤードの取り外し**

エマージェンシーキットは緊急時のみ使用してください。

※ 用途やフィッティングに合わせて、お好みでアイヤードを脱着することができます。

**プレスガードの取り外し**

1. プレスガードの中央部分をつかみ、矢印の方向へ引き抜いてください。

**プレスガードの取り付け**

1. 図のように左右両方のツメをひっかけ、矢印の方向に押し込んでください。

**ローアプレットの操作方法**

ローアプレットの開き方は2段階あり、吸気量と排気量を調整できます。

1. ローアプレットの下部を1回押して、1段目を開きます。
2. 2番目の位置で最小限の風量を確保し、3番目の位置で最大限の風量を確保することができます。

**サイドベースカバー(インカム)の取り付け**

ベースカバーとブラケットのスクルーバが一致するまでヘルメットのボトムガセット内側にベースカバーを押し込んでください。そして、スクルーを取り付けて、ベースカバーをヘルメットに固定してください。

**サイドベースカバー(インカム)取付**

1. A. レバーを押しながらカバーを矢印の方向にスライドさせます。

1. カバーのフックと本体の溝を合わせて押し込みながら装着します。

**インカムの取り付けについて(専用部品をお買い求め下さい)**

ヘルメットの後ろに付いているベースカバーを取り外してインカムを取り付けてください。インカムの取り付け及び取り外し方法は、インカム付属の取付説明書をお読み下さい。

**リアベースカバー(インカム)カバーの取り外し**

ベースカバーのスクルーバを取り外してください(図1)。矢印A方向にベースカバーを持ち上げながら取り外してください。

**リアベースカバー(インカム)の取り付け**

ベースカバーとブラケットのスクルーバが一致するまでヘルメットのボトムガセット内側にベースカバーを押し込んでください。そして、スクルーを取り付けて、ベースカバーをヘルメットに固定してください。

**サイドベースカバー(インカム)取付**

1. カバーのフックと本体の溝を合わせて押し込みながら装着します。